



浜田幼稚園 地域だより

令和6年2月号
浜田市立浜田幼稚園

2月は冬から春へ 幼稚園でも様々な行事が行われました！

豆まきから始まり、今年度最後の参観日とぽかぽかの会では「お店屋さんごっこ」、浜田水産高校や浜田市立長浜小学校へ出かけての交流活動も行われ、子ども達はますます元気に過ごしています。卒園、進級までの残り少ない生活を充実したものにしていきます。

豆まき「鬼は外～！福は内～！」(2日)

初めて幼稚園の豆まきを経験する年少組にとっては、鬼面作りをする頃から、「なんだか心配。幼稚園に行くの恐いな…」という思いを抱いていた人もいたようです。

当日は黒豆を炒る良い匂いが職員室や保育室から漂ってきました。子ども達は「あ、パチっていったよ。」「なんだかい匂い。」「お餅の匂いみたい。」と興味津々で黒豆を炒る様子を見ていました。

10時半、豆まき集会の始まりです。クラスごとに手作りの鬼面を紹介し終わると、いよいよ豆まきの開始です。最初に年女(辰年生まれ)の職員(今年はなんと4人)が豆をまき、賑やかに始めました。しばらくすると赤鬼と黒鬼が現れ、怖がって泣き出す人、先生の後ろにしがみついたり隠れながら泣き出す人、怖いから遊戯室から出たいと先生について廊下まで出ていた人もいました。ほとんどの人が一生懸命、豆を拾っては投げ、拾っては投げ、無事に鬼たちは退散となりました。きっと、幼稚園の子ども達の心の中に潜んでいたいろいろな鬼も逃げ出し、健康で幸せに過ごせる春がやってくることでしょう。



「お店屋さんごっこ」(14日～15日)

子ども達はそれぞれの年齢に合わせ、自分達のお店コーナーを実現しました。先生達や友達と一緒に遊ぶ中で、保護者の皆さんやぽかぽかのお友達がお客さんになってくださることに期待感をもちながら、お店の準備を進めてきました。勿論、自分達もお客さんになって楽しむことも忘れていません。お店を開きながら、他のクラスのお店に行ってみたり、品物が売り切れと聞いて残念がったり、予約販売もしてもらえると知り笑顔になったり、景品が無くなってもゲームだけ楽しみたいお客さんも出てきたり、「お店屋さんごっこ」の遊びの中で、いろいろなことを経験することができました。

15日午後には先生達の手作りおもちゃが並ぶお店屋さんが開店。年長・年中・年少の異年齢グループメンバーと一緒に買い物を楽しみ、宝探しにもチャレンジ。年長児がリーダーとなり、買い物をする時も「年少さんから順番に並んで！」と小さいお友達から並ぶことを提案したり、グループの仲間がはぐれないように気を配ったりする姿も見られました。年長児の頼もしい姿にこちらも嬉しくなりました。



水産高校缶詰体験へ行ってきました！(6日)

浜田水産高校の食品流通科の生徒さんと交流し、宝物入りの缶詰制作を体験させていただきました。

生徒さん方の自己紹介から始まり、浜田港に水揚げされた魚の名前当てクイズが用意されていました。アジから始まり、大きな大きなマグロまで、子ども達はいろいろな名前を出しながら答えていました。シイラの名前だけは分からなかったようですが、後は全問正解！水産高校では鯖缶やマグロを使ったツナ缶など製品にしておられるとのことでした。

クイズの後は、いよいよ宝物缶詰の作成です。缶詰の回りに貼る紙から自分の好きな色を選んで模様を描き、缶の中には、それぞれが用意した宝物(写真やマスコット、自分で描いた絵や手紙など)を詰め込みました。圧縮プレスする機械のスタートボタンを押すことも体験させていただきました。また、生徒さんと手を繋いで、冷凍庫の中に入ることにチャレンジ。なんとマイナス35度の冷凍庫。入口まで行き、その冷気に驚き、「やっぱりやめとく～！」の人もいました。出来上がった缶詰(2缶)、持ち帰ったその日に「もう、ふたを開けちゃった。一つは残してるけどね。」という人もいたようです。数年後まで大切に保管できると、タイムカプセルの缶詰にもなりそうです。



フォトコーナー



長浜小学校の学校図書館へ行ってきました。司書の先生に、本の借り方を教えてもらいました。沢山の絵本にも大喜び！



今年度最後の茶道教室 保護者の方へ「お茶をどうぞ」



お店屋さんごっこの手作り商品 売り切れて、慌ててその場で作ったり！



「この携帯電話がおすすめだよ！」 「う～ん、じゃあ、これにします。」